

## ◆ 平成26年度活動報告シート ◆

団体名：桶川みどりの会

代表者：代表 小川 佐

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

林内の整備活動は、機器により作業効率は格段の進歩を遂げた。林内に積み置く除間伐材を粉碎処理し、林内通路などに敷き置く等で解決の手段も見えてきた。各機器も2台以上確保出来、その日の活動が停滞することが無くなり達成感も生まれた。



### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

林内活動は月2回の定例とスポット併せて、65回延べ460名が参加。今年5,600㎡が加わり27,860㎡（10カ所）の市民緑地等がフィールドです。最初の1、2年は除伐作業、枯損木・不良木の間伐作業を行い、3年目から落葉カキを行い林床植物の出現を待ちます。



主な行事は、5月の「桶川春のふれあいフェスタ」、11月の「桶川市民まつり」、「森のつどい」、3月の「冒険・発見・雑木林で遊ぼう」。

森のつどいは当会主催・環境課共催、「子供の森」を会場に30家族91名の参加で「落葉カキ」で汗を流し、市長を交えて「植樹祭」を行いました。竹でお碗・箸を作り「キノコ汁」を食べて、竹工作や手作りの遊具で一日林の中で家族一緒に楽しい時を過ごしました。



写真（上：粉碎処理作業中 5号地、中上：森のつどい・子供達で植樹、中下：同 皆で落葉カキ、下：竹除伐作業7号地）



### 3. 活動の成果

「荒廃した雑木林の保全で緑豊かなまちづくりを目指す」を目標に管理地を拡大してきました。15,585㎡の活動地を27,860㎡（市民緑地12,275㎡）に拡大しましたが、機材も揃い四季折々の作業を人海戦術で乗り切る事が出来ました。会員は現在21名、その日の活動が目に見えて成果として実感出来る状態です。

### 4. 今後に残された課題

1. 市内の里山は、周辺の開発で面積が狭隘化しており20m位の老齢高木が道路・隣地の境界から大きくはみ出し近隣との係わりが大変難しくなっております。林内活動での完結が難しく、業者の協力を含めた対応が必要になってきています。
2. 竹・笹・常緑樹・枯木の除伐を行えば、そこには樹木がまばらな皆伐のような空間が出現します。豊かな森の再現に、局所的に植樹を行い裸地を無くして行きたい。
3. 除伐や間伐材の有効活用が出来ていません。自然再生エネルギーに活用出来ないかこれからの検討課題です。